

兵庫県但馬水産技術センターだより

貝毒情報(イワガキ) TKD-29-01 号

平成 29 年 6 月 15 日発行

プランクトン調査及び貝毒検査を6月12日～6月15日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】

- ・貝毒検査の結果、今回検査した地点では麻痺性貝毒は検出されませんでした。
- ・貝毒の原因となるプランクトンの出現も見られませんでした。

【検査結果】

年月日 (採水・採取)	H29. 6.12	H29. 6.12	
地点 (St.)	香住	居組	
水温 (°C)	20.7	20.7	
塩分	34.2	33.3	
貝類の毒化状況 〔マウスユニット/g〕	麻痺性貝毒	ND*	
麻痺性貝毒原因 プランクトン	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	0	0
	アレキサンドリウム カテネラ <i>Alexandrium catenella</i> (個数/ℓ)	0	0
	ギムノディニウム カテナータム <i>Gymnodinium catenatum</i> (個数/ℓ)	0	0
下痢性貝毒原因 プランクトン	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0



*: ND とは、検出限界以下のことです



<規制の基準>

可食部の毒量が

麻痺性貝毒: 4 マウスユニット/g

下痢性貝毒: 0.16mg オカダ酸当量/kg } を超えた場合

<注意が必要なプランクトン密度>

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ

Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上

アレキサンドリウム カテネラ

Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ

Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

- ・7月上旬に貝毒原因プランクトンの調査を予定しています。調査結果がまとまり次第、「貝毒情報 TKD-29-02号」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター (担当: 鈴木 Tel: 0796-36-0395)

兵庫県但馬県民局但馬水産事務所 (担当: 水産課・肥後 Tel: 0796-36-1153)

ホームページ: <http://www.hyogo-suigi.jp/tajima/index.htm>